

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 久保谷 廠司
 編集 議会報編集委員会
 伊東市議会事務局
 電話32-1981(直通) FAX38-6916



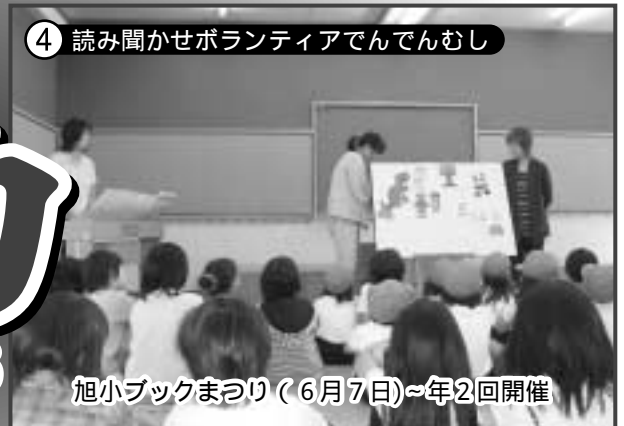
本好きな子供を一人でも多く育てるため、伊東図書館で毎週土曜日に午前10時30分から午前11時まで「読み聞かせ」を行っています。



毎月1回、みんなで集まって公園遊びやヨガ、おやつづくりなど楽しく活動しています。



児童の健全育成を目的に地域の諸団体と連携を図り、ボランティア活動や各種イベント、研修会等へ積極的に参加し、幅広く活動しています。



今年で10周年を迎えました。月に一度学区内にある広野保育園でも行っています。

伊東市を支える協働の
カ
 その6

表紙は「いとろ」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
 つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

活動団体の問い合わせは

主な内容

| | |
|--------------------|--------|
| 6月定例会の概要..... | 【P.2】 |
| 一般質問(12議員が登壇)..... | 【P.3】 |
| 臨時会の概要..... | 【P.10】 |
| 常任委員会だより..... | 【P.11】 |

| | |
|-------------------|---------|
| 伊東図書館おはなし会 | |
| 伊東市立伊東図書館内 | 36-7433 |
| トライアングル | |
| 伊東市子育て健康課 | 32-1582 |
| 若竹母親クラブ | |
| 伊東市子育て健康課 | 32-1581 |
| 読み聞かせボランティアでんでんむし | |
| 旭小学校内(日吉) | 36-4000 |

平成23年6月定例会

15件の議案等を審議、決定



6月定例会を6月16日から6月28日までの13日間の会期で開会しました。

市議会6月定例会で審議した議案等

| 議案番号 | 件 名 | 概 要 | 提出者 | 審議結果 |
|-------|---|--|-----|-----------|
| 市認第2号 | 平成22年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)専決処分の報告承認について | 国から交付されるべき介護給付費に係る調整交付金が法定率どおりに支給されなかったことから6,161万6,000円を減額し、これに伴い介護保険給付支払準備基金から同額の繰入金を追加する専決処分を平成23年3月31日に行ったことの報告承認 | 市長 | 全会一致で承認 |
| 市認第3号 | 平成23年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第1号)専決処分の報告承認について | 平成23年度の歳入から4億3,542万3,000円の繰上充用に係る専決処分の報告承認 | 市長 | 全会一致で承認 |
| 市報第1号 | 平成22年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について | 平成22年度予算の一部(きめ細かな交付金事業6事業、住民生活に光をそそぐ交付金事業9事業のほか本市独自の経済対策事業、道路改良工事など22事業3億7,555万5,000円)を平成23年度に繰り越したことの報告 | 市長 | (報告、質疑のみ) |
| 市報第2号 | 平成22年度伊東市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越し報告について | 平成22年度予算の一部(管きょポンプ場改築事業:7,400万円)を平成23年度に繰り越したことの報告 | 市長 | (報告、質疑のみ) |
| 市報第3号 | 平成22年度伊東市一般会計予算事故繰越し報告について | マリントウン係留棧橋の災害復旧工事において、中東情勢の悪化によるスエズ運河の通行不安などから、フランスで製作した浮き棧橋の搬送がおくれたことや、東日本大震災の影響により船舶の物流が一時的に麻痺したことなど、避けがたい事故のため年度内に完成ができなくなったことから1,576万円を平成23年度に繰り越したことの報告 | 市長 | (報告、質疑のみ) |
| 市議第2号 | 伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例 | 個人市民税・固定資産税に関し、東日本大震災の被害状況にかんがみ、被災納税者の実態に照らして現行制度をそのまま適用することが適当でないと考えられるものについて、緊急の対応策としての条例改正 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第3号 | 伊東市消防本部普通消防ポンプ自動車購入契約の締結について | 契約金額:4,536万円 契約の相手方:株式会社モリタ東京営業部 | 市長 | 全会一致で可決 |

市 議 会 だ よ り

| 議案番号 | 件 名 | 概 要 | 提出者 | 審議結果 |
|-------|---------------------------|--|----------|------------|
| 市議第4号 | 平成23年度伊東市一般会計補正予算(第2号) | 地方議会議員年金制度の廃止に伴う経過措置として議員共済給付負担金、雇用対策として緊急雇用創出事業、港整備事業費交付金を活用した宇佐美漁港整備事業、地域経済対策としてプレミアム商品券発行事業や市内の災害危険箇所への応急工事などを追加するほか、不足する財源について財政調整基金繰入金を充当するなど、1億8,137万5,000円の追加 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第5号 | 伊東市功労者表彰について | 稲葉悦一氏(未広町) | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市選第1号 | 教育委員会委員任命の同意について | 杉田純子氏(宇佐美)再任 | 市長 | 全会一致で任命に同意 |
| 市選第2号 | 公平委員会委員選任の同意について | 山本哲正氏(荻)再任 | 市長 | 全会一致で選任に同意 |
| 発議第1号 | 伊東市議会委員会条例の一部を改正する条例 | 資格審査特別委員及び懲罰特別委員の定数を8人から7人とするための条例改正 | 議員 6名 | 全会一致で可決 |
| 発議第2号 | 伊東市議会会議規則の一部を改正する規則 | 投票による選挙を行う際の議場の出入口閉鎖に関する規定の削除や委員及び議員をアジア諸国に派遣する際、議決を要しないことなどに係る規則改正 | 議員 6名 | 全会一致で可決 |
| 発選第1号 | 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について | 有効投票19票のうち、土屋篤男議員13票、押尾完治議員0票、吉村哲志議員0票、川口三男議員6票 | 議長 | |
| 発選第2号 | 農業委員会委員推薦について | 浅田良弘議員、西島彰議員、稲葉富士憲議員、楠田一男議員を推薦 | 議員 6名 | 全会一致で推薦 |

一 般 質 問

1 2 議員が登壇 / 市政全般について質問

(登壇順に掲載)

通学にかかわる経済負担が進路選択へ及ぼす影響について、どのような現状認識を持っているか



民主党・刷新の会
四宮和彦 議員

同じ伊東市内在住者であっても、高校通学に当たり、市内北部と南部では、交通費負担のみならず、駅までの送迎等、保護者の負担については大きな格差がある。特に、対島中学区の生徒の保護者にとっては、通学にかかわる負担の大きさは無視できないものと思われる。

こうした経済負担の大きさは、高校進学に当たり、市外の高校へ進学する機会を奪う要因となりかねないと思われるが、どのような現状認識を持っているか。生徒自身と保護者が話し合っただけで決定したことを尊重し、支援していきたい。

教育長

高校進学については、生徒自身と保護者が話し合い、自分が目標とする学校進学に向かつて日々努力していくことが第一であると考えている。

電車、バス等の交通費については、居住する場所、進学する学校によってさまざまであるとして、一人一人に情報を提供するとともに生徒の目標・希望を支えていく進路指導に努めていきたいと考えており、その中で、生徒自身と保護者が話し合っただけで決定したことを尊重し、支援していききたいと考えている。

『その他の質問項目』

全国や静岡県と比較して伊東市の高校進学率の現状はどのようになっているか。また、どのように評価しているか

平成二十二年度中学卒業生について、在学中の問題行動や、伊東高校のクラス削減等が進路に影響することがなかったか

教育指導、教育振興等の教育コンテンツに関して、児童・生徒一人当たり、どれだけの費用を支出しているか



北中学校の進路室

市民の健康増進のためパークゴルフを推進するとともに、体験型観光施設としての造成について



正風・興志会 宮崎雅薫 議員

パークゴルフは、ルールも簡単で、高度な技術を要しないものの、集中力や調整力を求められる場面もあり、だれもが気楽に楽しめる生涯スポーツである。

北海道長沼町では、健康維持のためにパークゴルフを奨励し、この普及に伴い、健康に対する町民意識が高まり、さらには医療費の低減にもつながった。

本市も、多くの市民や観光客が民間パークゴルフ場を利用し、愛好者も増加している。市民の健康増進や、また、健康回復都市としてスポーツ体験型の誘客企画などの観点から、有効な施策と考えられるパークゴルフ場の造成の可能性について伺う。

造成は困難であるが、健康増進策や誘客策としてパークゴルフを推進する

市長

現在多くの市民が楽しんでいるパークゴルフは、だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる生涯スポーツとして位置づけられ、本市も、市民の健康増進の観点から、パークゴルフの推進に努めていく。

また、体験型観光施設と

してのパークゴルフ場の造成については、相当な面積を要する点で、用地確保の困難さ、民業を圧迫するおそれがあるため、現時点での整備は考えていないが、今後も、伊豆ぐらんぱる公園と協力して、だれもが気軽に楽しむことができるパークゴルフをPRし、観光客の誘致につなげたい。

『その他の質問項目』

- ・ 活力あるまちづくり
- ・ 平成二三年以降の商工業振興施策について
- ・ 商店会のイベントに対する支援策について
- ・ 安全・安心で快適なまちづくり
- ・ 津波に対する避難経路の策定等についてほか一点



伊豆ぐらんぱる公園のパークゴルフ場

市民と行政の協働によるまちづくりに向けた、私道整備事業の補助制度や市民の自主的活動に結びつける制度の創設について



輝21 稲葉富士憲 議員

第四次総合計画では、壁画と協働を掲げ、市民と行政が情報を共有し、同じ目標に向かつて新たな価値を生み出すまちづくりを推進すると述べており、市民の自主的なまちづくりの試みに大いに期待し、支援していかうとしているが、具体的にどのような方法で市民活動を支援するのか、以下二点について伺う。

まず、私道整備を補助する制度の創設は、市民と行政の協働によるまちづくりの理念にかなうものと考えられるかがか。

また、市民の自主的活動の需要と供給を結びつけるという観点から、情報誌の

創刊、人材バンクの設置は、市民と行政の協働によるまちづくりにとって、大きな推進力になると考えるがいかがか。

夢まちづくり事業等を活用するとともに、情報誌の創刊等は検討していきたい

市長

私道整備事業の補助制度については、所有者との調整や境界の確定など、多くの問題点もあるが、実情を踏まえながら、夢まちづくり事業や地域応急処理事業の制度を活用し、道路整備を推進していく。

また、平成二一・二二年度に実施した「市民活動の推進を図るための情報収集とデータベース作成及び市民活動支援事業」において、市民活動団体に係る情報を収集・整理し、閲覧できるようにしており、個人、団体ともに活用できるものと考えている。

情報誌の創刊や人材バンクの設置については、今後検討を進めていきたい。

『その他の質問項目』

東日本震災の教訓を生かすための対策・体制市民と行政の協働によるまちづくり ほか二点



地域応急処理事業の原材料支給で整備した道路

奥野ダムを活用した水力発電の可能性について伺う



民主党・刷新の会 議員 横 沢 勇

奥野ダムは、洪水調整、流水の正常な機能の維持、水道用水の確保の三つの役割を担う多目的ダムとして平成元年に完成し、今では伊東の新たな観光スポットとしての周辺整備も進めら

れている。

そこで、もう一つの役割として、水力発電機能を追加することができれば、電力供給量の減少に対し、少しでも市内の電力需要に貢献できるのではないかと。

「新エネルギー」として、中小水力発電を奥野ダムで実施することが可能であれば、これからの節電対策や将来に向かっでの代替エネルギーとして活用の可能性もあるのではないかと考えられる。

奥野ダムの事業主体が静岡県であることは承知しているが、市としても導入の可能性を調査、検討し、県と協議をしていくことも必要ではないかと思うが、市長の考えを伺う。

県との協議で、管理用小水力発電設備の導入を推進する方向であると聞いている市長

奥野ダムにおける水力発電の可能性については、過去に、発電設備導入に要する工事の規模や発電効率等

を含めた検討を行った。

近年の再生可能エネルギーへの関心の高まりや技術の発展などを踏まえ、静岡県と協議し、小水力発電実現の可能性が高まる中、管理用小水力発電設備の導入を進める方向であると聞いているところである。

『その他の質問項目』

小室山総合グラウンドを公式サッカー場のメイングラウンド及びサブグラウンドとして整備するほか、残りの部分を整備することにより、多方面にわたる有効活用が可能であると考えるが、いかがか



奥 野 ダ ム

海拔表示の設置等、津波から市民の命を守る取り組みについて伺う



清峰クラブ 議員 佐々木 清

五月中旬に東日本震災の被災地の視察を行い、町全体が消え去った感のある陸前高田市では言葉が失った。それから一カ月以上を経過した今でも思い出されるのは、津波の圧倒的な破壊力であり、土石流が海から押し寄せたとの表現が一番の確かと感じている。

相模湾で直下型地震が発生した場合、本市には五分後に津波が押し寄せるといいうシミュレーションもあり、過去には八〇mもの津波も記録されている。

このことを踏まえ、津波から市民の命を守るには、海拔三m以上の場所にある三階建て以上の建築物に避難することが必要であり、そのためには避難可能な建

市 議 会 だ よ り

建築物や交差点に対し、視覚に訴えるインパクトのある海抜表示を提案するとともに、津波から市民の命を守る取り組みについて伺う。

安全と安心に配慮したまちづくりを推進していきたい

市長

現在、市内一八五本の電柱に、海抜2m以上を示す表示を行っているが、地域住民の皆様と、表示方法や増設箇所等の検討を行う中、本年度、公共施設などにも海抜表示や避難看板の設置を行い、安全と安心に配慮したまちづくりを推進していきたい。

『その他の質問項目』

構造改革特区、社会保険制度の住所地特例を、分譲地の活性化、医療・介護分野の雇用創出につなげていく考え方について
県総合運動施設の誘致について
本市独自の被災地支援策として、被災犬の受け入れについて
津波から子供たちの命を

守るため、海抜の低い地域等にある幼稚園、保育園の避難訓練に係る実施計画の見直しについて



海 抜 表 示

商店街街路灯のLED化や太陽光発電化に対する公的支援について伺う



正風・興志会
西島 彰 議員

東日本大震災による電力不足対策として実施された計画停電は、経済活動に大きな打撃を与えたとともに、市民一人一人の電力に対する考え方を変えたほか、市

役所と市民の人生観、経済観を変える出来事であった。

そこで、節電の対応策として、商店街の街路灯を間引いたり、電球を一部外したりしているが、通行の安全性や防犯の観点から、一定の照度を確保することは必要不可欠である。商店街によっては、電気料金として、年間二〇〇万円を超えているところもある。

今後を見据え、消費電力や電気料金、使用寿命を考慮する中で、商店街街路灯のLED電球への転換や太陽光発電への切りかえ等の必要性を感じており、公的支援ができないものか、市長の所見を伺う。

国の支援を含め、商店街が主体となって進めていく

市長

商店街の街路灯のLED化や太陽光発電化については、節電・省エネの推進と電気料金の軽減等が見込め、ランニングコストの負担軽減につながるほか、クリー

ンエネルギーである太陽光発電に関しては、環境にやさしい商店街の景観形成に寄与するものと考えられる。

現在、商店街からも、街路灯のLED化に向けた支援の要望がされていることから、街路灯のLED化や太陽光発電化の取り組みに対し、国の公的支援を含め、商店街を主体とする中で進めてまいりたいと考えている。

『その他の質問項目』

節電対策、エネルギー確保策について ほか三点
東日本大震災避難者受け入れについて 三点
東日本大震災発生後における本市の防災対策の見直しについて 三点



商店街の街路灯

困難を有する若者たちへ、就職相談や学習支援のできる体制の構築が必要と考えるがいかがか



日本共産党
重岡 秀子 議員

高校への未進学者や高校中退者等困難を有する若者たちの進路が決まらず、問題行動につながっていくことが懸念されている。

高知市には、不登校児童生徒の適応指導教室や中学卒業後の就職相談等、義務教育後のさまざまな相談を受けられる施設があり、本市でも、そのような状況にある若者への支援策として、実態を調査、検討し、就職相談や学習支援のできる体制を、関係機関が連携し構築していくことが必要と考えるが、いかがか。

県と連携を図り、実効性のある支援を実施していく必要があると考えている

市 議 会 だ よ り

市長

静岡県では、平成二十三年

三月に「ふじのくに子ども・若者プラン」を策定した。

このプランは、二ト、不登校等の困難を有する子供・若者の支援策として、関係機関、民間支援団体との連携を構築し、本人や家族を支える相談・支援機能の充実強化、就業支援等、実効性のある支援をしていくもので、市町でも、各支援機関がネットワークを形成し、専門性を生かした取り組みを推進している。

いずれにしても、県と連携を図り、実効性のある支援を実施していく必要があると考えている。

『その他の質問項目』

東日本大震災の観光への影響に対する本市の施策について

・どのような影響を及ぼしているか

・一〇万枚の誘客はがきをどのように生かし、市民ぐるみの誘客宣伝していくのか

・特別なイベントに対し、

広報車等の宣伝への工夫について

・観光客を呼び戻すため、観光関連団体と協働で戦略を練る必要があると考えるがいかがか



静岡県が策定した「ふじのくに子ども・若者プラン」

市道下方・海立線と市道宮川・桜ヶ丘線の変則的交差点付近や南山町バス停付近の安全対策に対する本市の考え及び対応について伺う



民主党・刷新の会 議員 浅田 良弘

市道下方・海立線と市道宮川・桜ヶ丘線の交差点付近は、変則的な交差点であ

ることから道路の横断が難しく、交通事故多発地点であり、鎌田地区で最も危険な交差点である。

また、県道五九号線南山町バス停付近については、伊東警察署へ安全対策に關し要望した経過がある。

新市民病院開院後、交通量増加が予想される中、横断歩道の設置等が切望されており、これら危険箇所への安全対策に係る本市の考え方について伺う。

意見・要望に沿って、住民関係機関と協議して対応していく

市長

市道下方・海立線と市道宮川・桜ヶ丘線の変則的交差点付近、南山町バス停付近の二カ所については、鎌田区などから横断歩道設置に係る要望書が提出されているが、条件を満たしていないとして、横断歩道設置が困難であるとの見解を伊東警察署では示している。

市道下方・海立線の変則的交差点については、歩行

者の安全を考え、カラー舗装化による安全対策を実施したところである。

県道五九号線南山町バス停付近については、新たな安全対策についての住民の皆様からの意見・要望に沿って、関係機関と協議して対応を図ってまいりたい。

『その他の質問項目』

地域の実情に基づく雇用機会の拡充施策について地上デジタル放送完全移行に向けた支援等

災害時における観光客向けの安全対策について温泉を利用した地熱発電の調査・研究について里親制度促進について中学校給食に係る施策検討経過について



南山町バス停付近



市道下方・海立線と市道宮川、桜ヶ丘線が交わる変則的交差点

「被災者支援システム」の導入・運用について伺う



公明党 議員 楠田 一男

災害が発生したとき、被災者の支援には、自治体による、いち早い被災者情報 の把握と、さまざまな行政サービスの提供が求められる。

そこで期待されるのが、膨大な行政事務の負担を軽減し、被災者への迅速な行政サービスの提供に開発された「被災者支援システム」である。

今回の震災で、平時から、災害時に住民本位の行政サービスが提供される体制づくりを進める必要性が改めて高まっている。

災害時には、言うまでもなく人命救助が最優先であり、その後はきめ細かい支援が求められる。

危惧されている東海地震等で被災するかもしれない

市民のために、阪神・淡路大震災における実践に裏打ちされた「被災者支援システム」を導入・運用していくことが極めて有益だと考えるが、市長の考えを伺う。

被災自治体などにおける検証を注視しながら導入への検討を行っていく

市長

「被災者支援システム」は、被災者台帳の作成・被災者証明書の発行・仮設住宅の管理等を総合的に行うシステムであり、救済、復旧、復興に大きな力を発揮したものであると伺っている。

このシステムは、全国の地方自治体に無償で公開・提供されているが、現在まで導入した自治体は少なく、東日本大震災における被災自治体についても、このシステムを導入していたところは少なかつたと聞き及んでいる。

今後、被災自治体などにおける検証を注視しながら、導入に対する検討を行って

まいりたい。

『その他の質問項目』
学校施設の防災機能向上
対策について

林道奥野線の整備について



東日本大震災の被害状況を踏まえ、本市防災計画の見直しについて伺う



清峰クラブ 榎本元彦 議員

本市は海と山に囲まれており、多種の自然災害を想定する必要があると考える。

東日本大震災では、津波による被害が甚大であり、神奈川県西部でマグニチュード

7.0クラスの直下型地震が発生した場合、本市においても、強烈な揺れとともに津波が発生し、地震発生後一四、五分後には第一波が松原海岸に到達すると想定されている。

このことから、さきの大震災の被害状況を踏まえ、津波等の災害発生時の防災拠点、仮設住宅の設置場所、避難場所の整備及び備蓄食料の整備等、本市防災計画の見直しについて伺う。

津波避難訓練での市民の意見等を踏まえ、計画の見直しや避難マップの作成を考えている

市長

防災拠点は、通常、市役所の災害対策室になるのが、市役所が使用できない場合は、情報の収集・発信の容易な消防本部やコミュニケーションセンターなどに移設することも考えている。

仮設住宅については、市民運動場を初め、市内全域で二八二戸を予定しているが、十分ではないと考えて

おり、設置場所とともに戸数の増加を図る検討も必要であると考えている。

避難所の環境整備は、備蓄品の点検整備とあわせ行っており、食料は約三万四千七〇〇食とおおむね三日分を確保している。今後、発電機、バルーン型投光器の購入等、機動的な災害対応を目指していく。

伊東市地域防災計画については、今回の大震災では津波による被害が甚大であったことから、国、県における震災の検証や防災計画の変更などを視野に、津波避難訓練に対する市民の意見等を踏まえ、計画の見直しや避難マップの作成を考えている。



伊東市地域防災計画

未曾有の被害を引き起こした津波においても、子供の犠牲者を出さなかつた釜石市の防災教育から学ぶべきと思うが、いかがか



日本共産党 佐藤美音 議員

三月一日に発生した東日本大震災の想像を絶する津波被害の中、子供の犠牲者をほとんど出さなかつた岩手県釜石市の防災教育を教訓とすべきではないか。

地震発生直後、釜石東中学校の生徒は、地震の揺れの大きさから「ただごとではない」と判断し、津波浸水域から外れている校舎の三階に逃げたのではなく、校庭を駆け抜け、学校より高台の避難所へ走り始めた。それを見た隣の小学校では、全校生徒を三階に誘導するのをやめ、中学生の後を追う決断をして、全員の命が助かつたとのことである。

最善を尽くす、率先し避難する、助ける人になるな

ど「津波防災教育」を体系づけた釜石市に学び、また、津波被害を受けた伊東市の歴史に学び、教訓とすべきではないか。

「自分の命を守ることに主体的たれ」という姿勢をはぐくまなければならない

教育長

釜石市の防災教育については、教頭会においても伝えたところであるが、その重要性を改めて認識し、今後の防災教育に生かすとともに、「自分の命を守ることに主体的たれ」との姿勢をはぐくまなければならないと考えている。

また、中学生に対しては、地域の一員として責任ある行動をし、その力を十分発揮できるように指導も進めていかなければならないものと考えている。

『その他の質問項目』

- ・東日本大震災から学ぶべき防災上の教訓として
- ・避難方法や避難場所の根本的見直しについて
- ・震災復興支援のための職

員派遣について
中学校給食を早期に全校で実施すべきではないか



3月11日東日本大震災時の避難の様子
(津波襲来直前に鶴住居地区住民が撮影・片田提供)

就学援助制度のさらなる周知と手続の簡素化について



日本共産党
大島春之 議員

憲法では「義務教育は、これを無償とする。」と規定しているものの、実際の日本の義務教育は、無償とは大きくかけ離れ、父母負担に依存している現状にある。経済状況や雇用の悪化に伴う「貧困と格差」の広がり

の中で、家計の状況によっては、義務教育が保障されないことになりかねない。本市においては、長引く不況と大震災により、さらなる経済不振に陥っており、市民の暮らしはますます厳しくなっている。

こうした不況下で、お金の心配をしないで学ぶことを権利として保障しているのが就学援助制度である。

すべての子供が安心して教育が受けられるよう、本制度を広く知らせ、必要とする人が心置きなく受給できるように、申請方法の改善や内容を充実することが必要と考えるがいかがか。

本制度について、さらに広報していくとともに、手続の方法も研究していく

市長

就学援助については、大震災後における伊東市の厳しい経済状況の中、就学困難な児童生徒に対し、教育の機会を確保するという本制度の目的を達成するため、必要な援助を行うよう今後

とも対応していく。

また、各学校を通じて、保護者に対して本制度の周知を指導しているが、今後は、ホームページ等への掲載など、制度の目的や申請方法等をさらに広報していくとともに、手続の方法についても研究をしていく。

『その他の質問項目』

市民が参画しやすくなるよう、情報の共有や話し合いが必要と考えるが、市民とともに行わなければ進まないまちづくり、ごみ減量、観光などに関し、その進め方や取り組みについて



就学援助制度の対象例

全国 市議会議長会 議員表彰

去る六月十五日、全国市議会議長会定期総会において永年勤続の表彰を受けた議員に対し、六月定例会において、その伝達を行いました。

一五年以上勤続

稲葉正仁 議員
鈴木克政 議員
伊東良平 議員

閉会中の議会活動

平成23年3月定例会閉会后平成23年6月定例会開会まで（臨時会を除く。）

| 平成23年 | 日 | 委員会・協議会 |
|-------|-----|--------------|
| 4月 | 7日 | 議会報編集委員会 |
| | 28日 | 常任総務委員会協議会 |
| | | 議会運営委員会 |
| 5月 | 9日 | 議会運営委員会 |
| | 16日 | 常任総務委員会協議会 |
| | 17日 | 常任観光建設委員会協議会 |
| | 19日 | 常任福祉文教委員会協議会 |
| 6月 | 10日 | 議会運営委員会 |



臨時会（平成23年5月13日）で審議した議案

| 議案番号 | 件 名 | 概 要 | 提出者 | 審議結果 |
|-------|---|---|-----|---------|
| 市認第1号 | 平成22年度伊東市老人保健特別会計補正予算（第2号）専決処分の報告承認について | 本会計は、平成21・22年度の2カ年の精算期間を終了し、平成23年3月31日をもって廃止となったが、剰余金を一般会計に繰り出すに当たり歳出予算額が不足したこと、国保連合会等からの請求金額の確定がおくれたことなどから238万5,000円を追加するため、平成23年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認 | 市長 | 全会一致で承認 |
| 市議第1号 | 平成23年度伊東市一般会計補正予算（第1号） | <p>東日本大震災被災地に対する支援、間接的に影響を受け、急速に悪化した市内経済への緊急対策などに関し、歳入歳出にそれぞれ2億5,532万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ231億3,532万8,000円とする。歳入には、県補助金2億532万8,000円（緊急雇用創出事業臨時特例対策事業費補助金・避難所開設事業費補助金）と財政調整基金を取り崩した5,000万円を充当するとともに、予備費により財源調整を行う。</p> <p>【概要】</p> <p>市内の雇用環境悪化に対応すべく緊急雇用創出事業経費の追加 1億9,632万8,000円 観光客の回復を図るために特別誘客宣伝事業委託料の追加 800万円 疲弊した中小企業の資金融資を支援する商工業振興補助事業経費の追加 1,509万円 小規模修繕を対象とした緊急経済雇用対策事業の新設 3,000万円 被災地から避難されてきた方の避難所として旅館・ホテル等で受け入れるための委託料、支援物資として被災地に提供した毛布などを補充するための防災用資機材購入費、被災地に派遣する職員の旅費等を含む東日本大震災被災地支援事業の新設 1,310万5,000円 など</p> | 市長 | 全会一致で可決 |

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ごらんになってみてはいかがでしょう。

傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができますので、希望される方は、議会事務局（市役所低層棟三階）まで気軽にお越しください。

議会を傍聴してみませんか？

政治家は有権者に
寄附を贈らない
有権者は政治家に
寄附を求めない
政治家から有権者への
寄附は受け取らない

みんなで守ろう



議員や有権者が、次の行為を行うことは法令で禁止され、処罰の対象となりますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

- 1 政治家が選挙区内にある者に対して寄附をすること。
- 2 有権者が、威迫して、あるいは政治家を陥れる目的で寄附を求めること。
- 3 後援団体が、選挙区内にある者に対して花輪、香典、祝儀などを出すこと。
- 4 政治家が選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候のあいさつ状を出すこと。
- 5 政治家や後援団体が、選挙区内にある者に対する有料のあいさつ広告を出すこと。



傍聴席から見た本会議の様子

平成二十三年六月定例会の傍聴者は二八人でした。

常任委員会だより

～ 常任委員会審査の中から～

詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、
ホームページでもごらんになれます。

総務委員会

道路台帳附図デジタルトレース
整備事業について

問

事業の内容について伺う。

答

道路台帳附図をデジタル化する事業であり、道路の管理状況が適切に把握できることから、このことを通じて、道路災害の未然防止や市民生活の安全向上を図るものである。



道路台帳附図デジタルトレース整備作業

問

事業の実施方法について伺う。

答

道路台帳のデジタル化は、かなり専門的な仕事であることから、コンサルタントへ委託するが、新規雇用者については、市内のハローワークで募集することを

考えている。

問

本事業実施による雇用創出効果及び完成時期について伺う。

答

計画では、7人を9カ月間雇用する予定であるが、準備に多少時間を要し、雇用期間が短くなる分、10人程度までふやしたい。

完成は、来年2月を予定している。

観光建設委員会

問

プレミアム商品券事業の実施時期と実行委員会の委員の選定方法について伺う。

答

実行委員会を早々に立ち上げ、9月から10月にかけて実施していきたい。

また、実行委員会の委員は、若い商業者にも参加していただく選定方法を検討していきたい。



平成21年度に実施された伊東温泉湯めクーポン

問

平成21年度に実施した伊東温泉湯めクーポンの利用実績について伺う。

答

大型店で7割、地元店で3割の利用が確認された。

なお、大型店の中には、市内資本の事業所も含まれており、

五分五分ととらえている。

問

土木費の工事請負費5,000万円の増額補正に係る工事計画箇所と今後の執行について伺う。

答

崩土が心配される市道八幡野・草崎線の一部のり面、泉から自動車学校に続く市道荻・伊東道線の擁壁を予定している。

今後、パトロールで発見した箇所を確認・調査の上、修繕予算では処理できない規模に対応する。

市議会図書室のご案内

市議会図書室には、昭和
三四年以降の市議会会議録
を初め、官報、県公報、議
会や行政に関する一般図書
等、約一〇〇〇冊を所蔵し
ています。

市議会図書室は、市民の
皆様もご利用いただくこと
ができますので、希望され
る方は、気軽に議会事務局
までお越しください。

なお、所蔵図書について
は、ホームページをごらん
いただくか、議会事務局ま
でお問い合わせください。

議 場 見 学



富戸小3年生(6月2日)

市議会では、市民の皆様にも市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

インターネット市議会
ホームページのご案内

- 市議会の仕組み.....定例会と臨時会、代表質問と一般質問、質疑と討論の説明など
- 市議会の構成.....議員、委員会、その他の会議の説明など
- 議員名簿.....議員の顔写真、所属会派、所属委員会など
- 歴代議長・副議長一覧
- 委員会委員一覧
- 市政の概要(全編版・抜粋版)
- 定例会・臨時会のお知らせ.....会議の日程、議案審議結果一覧、代表・一般質問の要旨など
- 議会閉会中の活動状況.....議会閉会中に開催された委員会など
- 行政視察.....行政視察の実施状況や他市議会の視察の受け入れ状況など
- いとう市議会だより.....138号以後のバックナンバー
- 市議会の傍聴を！.....市議会の傍聴のご案内
- 請願・陳情、決議・意見書とは?...請願などの説明のほか、書式
- 市議会図書室のご利用案内.....利用案内、所蔵図書の一覧表
- 市議会の情報公開請求.....情報公開請求に係る手続の説明と請求の書式
- お問い合わせは
- 伊東市議会 会議録.....平成7年10月臨時会からの市議会会議録



編 集 後 記

東日本大震災後初めての夏、原発事故も終息を見ない中、改めて省エネや新しいエネルギー問題についても考えさせられます。

伊東市の基幹産業である観光も大震災によって大きな痛手を負いましたが、こうしたときだからこそ、市民、行政が力を合わせ、まちづくりを進めていくことが重要ではないでしょうか。

市議会だよりでは、表紙で「伊東市を支える協働の力」をテーマにさまざまな分野のボランティア団体を紹介してまいりました。

今号は、九月の議員改選を控え、第一六期における最後の市議会だよりの発行となりました。正確でわかりやすい紙面を目標にしてみました。市民の皆様にお届けできたのか反省しつつ、議会編集委員会のメンバーにつなげていきたいと思います。(委員長)

9月定例会の予定

8月29日 開会

日程等は、8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

議会報編集委員会

- 委員長 重岡 秀子
- 副委員長 稲葉 富士憲
- 委員 四宮 和彦
- 委員 西島 彰
- 委員 榎本 元彦
- 委員 楠田 一男

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号

TEL(三三二)一九八一

FAX(三八)六九一六